



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イエメン：JBICの対イエメンLNG貸し付け契約

(5月20日付イエメン国営通信)

20日付イエメン国営通信は、イエメンLNGに対する日本国際協力銀行(JBIC)による2億ドルの貸付契約、及び各民間銀行による総額28億ドルの融資について報じている。

1.19日、イエメンLNGはバルーフ地区にあるLNGプラントの開発に対する28億ドルの融資契約に署名したと発表した。

(1)融資には、世界的な大手民間銀行に加え、日本からは日本国際協力銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行が出資している。

(2)融資部分には、日本貿易保険(NEXI)、韓国輸出入銀行(KEXIM)、フランス貿易保健会社(COFACE)の貿易代金貸付保険が付与される。

2.日本国際協力銀行は、イエメンLNGに対する2億ドルを限度とするプロジェクトファイナンス・ベースの貸付契約に署名した。

(1)融資は、同協力銀行と民間銀行(三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、東京に支店を持つ外資系銀行)との協力で実施される。

(2)2005年9月に、日揮が参加する共同企業体が受注したバルーフ地区のLNGプラント(2系列、生産量670万トン/年)及び2基の貯蔵コンテナ(各14.4万バレル)の建設計画に融資が行われる。

(3)本案件は、上流ガス田マアリブ18地区から輸送パイプライン(320キロ)を用いて20年間にわたりLNG生産を行うプロジェクトの一部。第一系統は、今年末までに完成し、2009年初等に操業予定。第二系統は、2009年中頃に操業する予定。

(4)本融資は、日本の金融機関にとって初のイエメン向けプロジェクトファイナンスとなる。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799